

ホザキシオガマ

Pedicularis spicata Pall.
ハマウツボ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：—

【環境省カテゴリー】絶滅危惧Ⅱ類

選定理由

これまで本州では唯一白山で確認（2014）されたもので、生育地はごく限られ、個体数とも極めて少ない。

分 布

北海道～本州（白山）に分布する。

種の特徴

湿原に生える一年生草本。茎は高さ 20～80 cm、4 稜があって毛が散生する。葉は羽状中裂からやや深裂。花期は 7～8 月、枝先に数段の密な花穂を作り、各段に 3～4 個の花を輪生する。花冠は紅紫色で長さ 12 mm、上唇は下唇より短い。

生育を脅かす要因

産地が局限し、自然遷移の進行が生育を脅かす要因となる。生育地がごく限られた地域に生育するためその生育地を保全するように心がける。

参考文献 佐竹義輔（1981）

| 市 町 別 生育情報 | 若狭町 | おおい町 | 高浜町 | 美浜町 | 小浜市 | 敦賀市 | 越前町 | 南越前町 | 池田町 | 永平寺町 | 坂井市 | 越前市 | あわら市 | 鯖江市 | 勝山市 | 大野市 | 福井市 |
|---------------|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|-----|------|-----|-----|-----|-----|
| | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | |

ムシトリスミレ

Pinguicula vulgaris L. var. *macroceras* (Pall. ex Link) Herder
タヌキモ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

産地局限。

分 布

北海道、本州（中部地方以北）、四国に分布。県内では大野市での記録がある。

種の特徴

亜高山帯、高山帯の湿った岩、れき地や草地に生える多年生草本。長さ 3～5 cm の長楕円形の根出葉をロゼット状につける。花茎は夏に 1～3 本伸び、高さ 5～15 cm で、葉はなく分枝しない。花冠は長さ 15～25 mm、紫色で細長くまっすぐな距がある。

生育を脅かす要因

踏圧、園芸採取。

参考文献

| 市 町 別 生育情報 | 若狭町 | おおい町 | 高浜町 | 美浜町 | 小浜市 | 敦賀市 | 越前町 | 南越前町 | 池田町 | 永平寺町 | 坂井市 | 越前市 | あわら市 | 鯖江市 | 勝山市 | 大野市 | 福井市 |
|---------------|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|-----|------|-----|-----|-----|-----|
| | | | | | | | | | | | | | | | | ○ | |

ノタヌキモ

Utricularia aurea Lour.
タヌキモ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】絶滅危惧Ⅱ類

選定理由

湿地環境の消失や、生育条件の悪化により減少している。

分 布

本州～九州に分布。県内では越前町、あわら市、越前市、坂井市、勝山市、大野市での記録がある。

種の特徴

亜熱帯～暖温帯の池に浮遊して生育する一年草。食虫植物で、水中葉は多数の補虫囊をつける。花軸は水中の主軸よりもやや太く、高さ 8～20 cm、8～10 月に 4～10 個の花をつける。花冠は黄色で径 6～7 mm。

生育を脅かす要因

湿地開発、遷移進行。

参考文献

| 市 町 別 生育情報 | 若狭町 | おおい町 | 高浜町 | 美浜町 | 小浜市 | 敦賀市 | 越前町 | 南越前町 | 池田町 | 永平寺町 | 坂井市 | 越前市 | あわら市 | 鯖江市 | 勝山市 | 大野市 | 福井市 |
|---------------|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|-----|------|-----|-----|-----|-----|
| | | | | | | | ○ | | | | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | |